

分野 1 : 中南米地域及び中米・カリブ諸国との協力及び交流強化

中期目標 :

メキシコ・中米・カリブ諸国との経済関係を含む幅広い分野における二国間関係や、国際社会における協力関係を強化し、様々なレベルでの相互理解を促進する。

過去3年度（令和5～7年度）の主な成果	課題及び今後の方向性
1【貿易・投資の増大等を通じた経済関係の強化】 - メキシコ・中米・カリブ諸国に進出している日本企業への支援に加え、「中南米地域へのインフラ海外展開に関する官民連携プラットフォーム（PLACIDA）」を設立するなど、同地域に関心を有する日本企業に対しても情報提供などの支援や官民ミッションの派遣などの取組を行った。また、メキシコ・中米・カリブ諸国に対し、日本企業が有する懸念について働きかけなどを実施した。 - これらの取組の結果、同地域への進出日系企業拠点数は、令和5年度の1,692拠点から令和7年度は1,826拠点へ増加し、日本とメキシコ・中米・カリブ諸国の間の経済関係の強化につながった。	1【貿易・投資の増大等を通じた経済関係の強化】 - メキシコ・中米・カリブ諸国への日本企業の進出は、経済関係の強化のみならず日本のプレゼンスの強化などを図る上でも非常に重要であるため、今後も、日本企業の一層の進出に向けたビジネス環境の維持・改善のために、様々なレベルで働きかけや意見交換を継続していく。 - 経済連携協定（EPA）や環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（CPTPP）といった自由貿易協定の枠組みも活用しつつ、メキシコ・中米・カリブ諸国との貿易・投資関係の強化に向けた連携や取組を継続する。
2【メキシコ・中米・カリブ諸国との二国間関係及び国際社会における協力の強化（往来・交流促進を含む）】 - 令和7年は、日・中米交流年であり、また、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の機会にグアテマラ、ベリーズ、パナマ、ハイチの首脳級の要人が訪日し、日本との二国間関係強化につながった。 - これらの機会に実施した様々な会談において、二国間関係の強化や国際社会での一層の連携強化を進めるとともに、東アジア情勢などにつき意見交換を行い日本の立場に対して理解と協力を得ることができた。	2【メキシコ・中米・カリブ諸国との二国間関係及び国際社会における協力の強化（往来・交流促進を含む）】 - 基本的価値を共有するメキシコ・中米・カリブ諸国と国際社会の諸課題について連携を強化し、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化に向けた取組を進めることは、日本の外交にとって非常に有益である。 - これまでのメキシコ・中米・カリブ諸国との政府ハイレベル会談での成果を礎として、合意された案件のフォローアップなどを通じ、二国間関係をより一層強固なものにしていく。
3【多国間フォーラムを活用したメキシコ・中米・カリブ諸国との関係強化】 令和6年2月、上川外務大臣がG20外相会合（ブラジル）への出席とともにパナマを訪問した際に日本と中南米諸国の協力の新たな一章として中南米外交イニシアティブを発表した。	3【多国間フォーラムを活用したメキシコ・中米・カリブ諸国との関係強化】 中南米外交イニシアティブにも記載のとおり、国際社会で重要性を増す中南米諸国との連携強化を実現する上で、多国間フォーラムを活用した連携の強化は日本にとって非常に重要であるため、

分野 1 : 中南米地域及び中米・カリブ諸国との協力及び交流強化

過去3年度（令和5～7年度）の主な成果	課題及び今後の方向性
- 令和6年12月、日・カリブ交流年の機会を捉え、日・カリコム外相会合を日本において開催するとともに、令和7年9月、国連総会の機会に、中南米諸国により構成されるラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）と日・CELAC拡大トロイカ外相会合を実施するなど、多数国間の枠組を通じた関係強化を実施した。 - 令和7年5月、日・中米交流年の機会にコスタリカにおいて日本・中米「対話と協力」フォーラムを実施し、日本と中米統合機構（SICA）の関係を強化した。	SICA、カリブ共同体（カリコム）、CELACを始めとした域内地域グループとの更なる関係強化に向けて取り組む。
備考：【令和8年度】実態に即した記載とするため、中期目標及び測定項目を「中米・カリブ諸国」から「メキシコ・中米・カリブ諸国」に修正した。	

参考：

- 外交青書（第2章第4節：令和6年版、令和7年版、令和8年版）
 - 中南米（グアテマラ、コスタリカ、ハイチ、パナマ、ベリーズ、メキシコ）
 - 上川外務大臣のG20外相会合（ブラジル）出席及びパナマ訪問（令和6年2月20日～23日）
 - 日本の中南米外交イニシアティブ
 - 中南米地域へのインフラ海外展開に関する官民連携プラットフォーム（PLACIDA）の設立
 - 海外進出日系企業拠点数調査
 - 日・カリブ交流年2024
 - 2025年日・中米交流年
 - 第8回日・カリコム外相会合（令和6年12月14日）
 - 第19回日本・中米「対話と協力」フォーラムの開催（令和7年5月5日）
 - 第3回日・ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）拡大トロイカ外相会合（令和7年9月23日）
- <二国間会談>
- 日・グアテマラ首脳会談及びワーキング・ディナー（令和7年6月10日）
 - 日・ベリーズ首脳会談及びワーキング・ランチ（令和7年8月4日）
 - 日・パナマ首脳会談及びワーキング・ランチ（令和7年9月5日）
 - 日・ハイチ首脳会談（令和7年10月9日）

分野 1 : 中南米地域及び中米・カリブ諸国との協力及び交流強化

参考 :

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
 中米・カリブ諸国（23か国）との政府ハイレベル会談数	85回	89回	70回
 日・中米・カリブ諸国間貿易額（実績値） （出典：財務省貿易統計）	3兆9,612億円	4兆3,549億円	3兆6,659億円